

逸店探訪

ペットと「共に生きる」時代だからこそ 愛するペットの健康としつけを守りたい



ペットカルチャー事業、ペット健康事業、ペットしつけ事業を手掛けている「いきもの屋」。ペット専用のアロママッサージなども手掛けている。「ペットは今や、『コンパニオン・アニマル』と呼ばれるほど家族同然の存在。だからこそしつけはとても大切です」と語る山口社長にお話を伺った。

**「いきもの元気実践会」主催
「わんわんしつけ俱楽部」全国 FC 本部
有限会社 いきもの屋**

広島市中区八丁堀 13-16-201 号 TEL 082-222-3338
URL: <http://www.wanwan119.com>

対談：代表取締役 山口 友紀雄 × ゲスト 三原 じゅん子

三原 山口社長がペット関連業界に進まれた経緯からお伺いしたいと思います。

山口 私を妊娠中、癌を発症していた母は私を産んで間もなく亡くなり、私自身も小児癌の発症率がかなり高いと判断され、毎月故郷の病院で検査を受けていました。当時、母の享年である 27 歳まで生きられないだろうと言われていたこともあって、健康について関心が高かったのです。そこで、健康食品を扱ったり、アロマ関係の仕事に就いたりと、長年健康に関する分野で働いてきました。ところが、30 歳を過ぎて体調を崩してしまい、寝たきりの生活を 1 年ほど送ることに。原因がわからず、癌になったかもしれないと思った私は、死に恐怖を覚え、自殺を考えた時期もあったのです。そんな時、私の事情を知る先輩が長期の海外

出張に出かけることになり、飼っていた犬を預かるようになりました。犬との暮らしが半年ほど続いた頃、不思議と体調が良くなつたんです。それ以来、犬の癒しの力に感動してペットとは何かを考えるようになりました。

三原 アニマルセラピーを身をもって体験されたのですね。

山口 はい。人を癒してくれるペットに、いつまでも健康でいてもらいたいと思い、人にも効果的だと言われるアロママッサージを手掛けようと考えました。幸い、前職でアロマ関係の職に携わっていましたので、一通りの知識や人脈を持っていたことが大きな支えとなりました。そして周囲の協力を得て、マッサージの教室を主催するようになったのです。またペットのしつけスクールもは

じめました。ペットと共に飼い主の方にもご参加いただき、家族として暮らすために必要なしつけ指導と共に、コミュニケーションを図れるマッサージなどの指導をしています。

三原 飼い主は、地域におけるペットのあり方などもきちんと考えて、自分のペットにしっかりしつけを行い、マナーを守らなければなりませんよね。

山口 はい。ペットブームによって、犬や猫などのペットを可愛がって下さる方が増える一方で、手に負えなくなつたという理由で、ペットを保健所に持ち込む飼い主も増えています。そういう事態を防ぐためにも、今後はしつけの重要性をより多くの方に認識して頂けるような活動を進めたいと考えています。

(取材／平成 18 年 9 月)



「ペットブームで年々ペットの飼育数が増える中、無責任な飼い主や悪質なブリーダーの問題など、一部の心ない人たちが起こす問題が取り沙汰されるようになりました。少しずつでも改善すれば取り組んでいらっしゃる山口社長は素晴らしいですね。動物と人が平和に共存できる社会の実現のためにも、頑張ってください」



三原 じゅん子